

教科	技術・家庭(家庭分野)	学年	第1学年
----	-------------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自分の成長と家族・家庭生活	2	自分の成長と家族や家庭生活との関わりが分かり、家族・家庭の基本的な機能について理解するとともに、家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付くこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活の中で食事が果たす役割について理解している。</li> <li>中学生に必要な栄養の特徴が分かり、健康によい食習慣について理解している。</li> </ul>		
食事の役割と中学生の栄養の特	3	生活の中で食事が果たす役割について理解すること。 中学生に必要な栄養の特徴が分かり、健康によい食習慣について理解すること。 健康によい食習慣について考え、工夫すること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活の中で食事が果たす役割について理解している。</li> <li>中学生に必要な栄養の特徴が分かり、健康によい食習慣について理解している。</li> </ul>	自分の食習慣について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現に向けて、食事の役割と中学生の栄養の特徴について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
中学生に必要な栄養を満たす食事	8	栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的特質について理解すること。 中学生の1日に必要な食品の種類と概量が分かり、1日分の献立作成の方法について理解すること。 中学生の1日分の献立について考え、工夫すること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的特質について理解している。</li> <li>中学生の1日に必要な食品の種類と概量が分かり、1日分の献立作成の方法について理解している。</li> </ul>	中学生の1日分の献立について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現に向けて、中学生に必要な栄養を満たす食事について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
日常食の調理と地域の食文化	16	日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択について理解し、適切にできること。 食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解し、適切にできること。 材料に適した加熱調理の仕方について理解し、基礎的な日常食の調理が適切にできること。 地域の食文化について理解し、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできること。 日常の1食分の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、工夫すること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択について理解しているとともに、適切にできる。</li> <li>食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。</li> <li>材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。</li> <li>地域の食文化について理解しているとともに、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。</li> </ul>	日常の1食分の調理における食品の選択や調理の仕方、調理計画について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、日常食の調理と地域の食文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
生活を豊かにするための布を用いた製作	6	製作する物に適した材料や縫い方について理解し、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできること。 資源や環境に配慮し、生活を豊かにするために布を用いた物の製作計画を考え、製作を工夫すること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。</li> </ul>	資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現に向けて、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

教科	技術・家庭(家庭分野)	学年	第2学年
----	-------------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
家族・家庭や地域との関わり	2	家族の互いの立場や役割が分かり、協力することによって家族関係をよりよくできることについて理解すること。 家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることが分かり、高齢者など地域の人々と協働する必要があることや介護など高齢者との関わり方について理解すること。 家族関係をよりよくする方法及び高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法について考え、工夫すること。	・家族の互いの立場や役割が分かり、協力することによって家族関係をよりよくできることについて理解している。 ・家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることが分かり、高齢者など地域の人々と協働する必要があることや介護など高齢者との関わり方について理解している。	家族関係をよりよくする方法及び高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、家族・家庭や地域との関わりについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
衣服の選択と手入れ	7	衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解すること。 衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解し、適切にできること。 衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方を考え、工夫すること。	・衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解している。 ・衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに、適切にできる。	衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択と手入れについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
生活を豊かにするための布を用いた製作	5	製作する物に適した材料や縫い方について理解し、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできること。 資源や環境に配慮し、生活を豊かにするために布を用いた物の製作計画を考え、製作を工夫すること。	・製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。	資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現に向けて、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
日常食の調理と地域の食文化	4	材料に適した加熱調理の仕方について理解し、基礎的な日常食の調理が適切にできること。	・材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。	日常の1食分の調理における食品の選択や調理の仕方、調理計画について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、日常食の調理と地域の食文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
住居の機能と安全な住まい方	9	家族の生活と住空間との関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解すること。 家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解すること。 家族の安全を考えた住空間の整え方について考え、工夫すること。	・家族の生活と住空間との関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解している。 ・家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。	家族の安全を考えた住空間の整え方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、住居の機能と安全な住まい方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
金銭の管理と購入	3	購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解すること。 売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解し、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできること。 物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、工夫すること。	・購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解している。 ・売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解しているとともに、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。	物資・サービスの購入について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現に向けて、金銭の管理と購入について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
消費者の権利と責任	2	消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解すること。 身近な消費生活について、自立した消費者としての責任ある消費行動を考え、工夫すること。	・消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。	自立した消費者としての消費行動について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現に向けて、消費者の権利と責任について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
生活の課題と実践	3	「家族・幼児の生活、地域の生活」「衣生活、住生活、食生活」「消費生活」の中から問題を見いだして課題を設定し、その解決に向けて環境に配慮した消費生活を考え、計画を立てて実践できること。		生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、自分や家族の消費生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、家庭や地域などで実践しようとしている。

教科	技術・家庭(家庭分野)	学年	第3学年
----	-------------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活の課題と実践	5.5	「家族・幼児の生活、地域の生活」「衣生活、住生活、食生活」「消費生活」の中から問題を見いだして課題を設定し、その解決に向けて環境に配慮した消費生活を考え、計画を立てて実践できること。		生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、自分や家族の消費生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、家庭や地域などで実践しようとしている。
幼児の生活と家族	12	幼児の発達と生活の特徴が分かり、子供が育つ環境としての家族の役割について理解すること。 幼児にとっての遊びの意義や幼児との関わり方について理解すること。 幼児とのよりよい関わり方について考え、工夫すること。	・ 幼児の発達と生活の特徴が分かり、子供が育つ環境としての家族の役割について理解している。 ・ 幼児にとっての遊びの意義や幼児との関わり方について理解している。	幼児との関わり方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、幼児の生活と家族について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。